

《公開用感染制御相談事例集(Q&A)》  
相談事例 No.6  
区分 環境管理(廃棄物・清掃・リネン)

【質問】

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)患者に使用したリネン類の洗濯はどのようにしたらよいでしょうか？

【回答】

病原微生物に汚染されたリネンの消毒には熱水消毒による方法と次亜塩素酸ナトリウム液に浸漬する方法とがあります。

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)による汚染が明らかな場合には、水溶性ランドリーバッグか指定のビニール袋に入れて運搬し、80℃で10分間の熱水洗濯を基本とします。このシステムが利用できない場合は、通常の洗濯を行った後に0.01～0.02%次亜塩素酸ナトリウム液中で5分間浸漬する方法もあります。

なお、寝具類やタオルなどは、病原微生物に汚染されていても、それらが安全な方法で取り扱われ、移送され、洗濯されれば、伝播リスクは無視できるほどであるとされています(CDCガイドライン)。シーツなどは、特別な汚染がないかぎり日常の洗濯を行います(感染症法に基づく消毒・滅菌の手引き)。

《参考文献等》

- 1) 院内感染対策講習会 Q&A, 消毒及び滅菌の基礎と実際(1), 日本感染症学会, 2006 (P. 21)
- 2) 改訂2版 医療現場における隔離予防策のための CDC ガイドライン— 感染性微生物の伝播予防のために —. メディカ出版, 2007 (P.48)
- 3) 感染症法に基づく消毒・滅菌の手引き. 平成 16 年 1 月 30 日健感発第 0130001 号厚生労働省健康局結核感染症課長通知, 2004